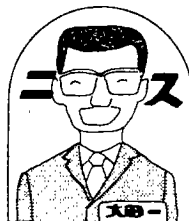


ニュース



FORTE/PSTV'97 (形式記述技法と通信 プロトコルに関する合同国際会議) 報告

本国際会議は、IFIP主催の第10回形式記述技法に関する国際会議 (10th IFIP International Conference on Formal Description Techniques) と第17回通信プロトコルに関する国際会議 (17th IFIP International Conference on Protocol Specification, Testing, and Verification) の合同国際会議である。両会議とも信頼性の高い分散システムや通信システムの設計・開発を主な研究テーマとする国際会議で、毎年開催されており、1996年より合同国際会議の形式で開催されている。1997年度は、情報処理学会とIFIPの共催で、1997年11月18日から21日までの4日間、大阪のNEC関西支社内のC&Cプラザホールで開催された。

会議には、英国、ドイツ、フランス、スペイン、カナダ、米国、ブラジル、中国、韓国、オーストラリア、日本など合計18カ国から113名の参加者があった (うち海外からは58名)。例年、本国際会議はヨーロッパと北米で交互に開催されているが、今回初めてアジア地区で開催された。このため、日本をはじめ、韓国や中国、香港、オーストラリア、などから多くの論文投稿・会議への参加があった。

初日のチュートリアルセッションでは、(1) PVSによる仕様記述・検証・モデルチェッキング、(2) ネットワークセキュリティ、(3) 時間拡張LOTOS、(4) オブジェクト指向分散リアルタイムシステム、に関するチュートリアルが行われた他、会議に併設して展示された11件のツールデモに関するプレゼンテーションが行われた。

2日目からの本会議では、招待講演3件を含む合計36件の論文発表が行われた。今回、のべ115件の論文投稿があり、その中から一般論文29件、Industrial Usage Report4件の合計33件が選ばれた (一般論文の

採択率は27%)。近年のATMやリアルタイム分散協調システムの発展に伴い、高速通信や時間制約を含む分散システムや通信ソフトウェアの設計・開発法、ならびに、それらの仕様記述、テスト、検証、性能評価などに関する論文が数多く発表された。

また招待講演では、(1) NTTの榊原氏による「Network and Application for New Generation」、(2) 会津大学の野口学長による「The Future Information Technology and its Impact to the Society」、(3) IBMワトソン研究所のChang氏による「Distributed Object Consistency in Mobile Environments」、の3件の講演があった。近年の高速通信や分散マルチメディアシステム、移動体通信の発展動向に関するサーベイと、このような最新の計算機ネットワークシステムの設計・信頼性向上の基となる形式記述技法への期待や役割についての講演が行われた。具体例や図表を交えた分かりやすい講演であったこともあり、活発な質疑応答があった。最終日のパネルディスカッションでは、「近年の高速通信やマルチメディア通信システムの開発に形式記述技法がどこまで有効か」や、「将来のこの分野での研究目標」などのテーマについて話し合われ、動画や音声などのマルチメディア情報の形式記述やQoS制御、実時間性の形式化など、招待講演同様、近年のネットワーク技術の基となる形式記述技法をどう構築していくべきか、などについて熱心に討論が行われた。これらの会議録はChapman & Hall社からIFIP Transactionsとして出版されている (ISBN0-412-82060-9)。

なお、本国際会議は情報処理学会との共催であり、マルチメディア処理と分散処理 (DPS) 研究会をはじめとして多くの方々のご協力によって開催することができた。また、会場であるC&Cプラザホールをお貸しいただいたNECの関係者の方々にも多大なご協力をいただいた。本国際会議の関係者の一人 (Program Co-chair) としてお礼申し上げたい。

1998年度の本合同国際会議 (FORTE/PSTV '98) は1998年11月3日から6日の4日間フランスのパリで行われる予定である。詳細は下記URLに記載されている。

URL: http://www.res.enst.fr/~najm/FORTE_PSTV98/

(東野輝夫/大阪大学基礎工学部情報科学科)